第 38 号　2019 年 10 月発行

CSRの和

2019.10
38

第 2 回 SDGs 報告会にて

特集 1　第 2 回 SDGs 報告会開催

特集 2　はばたく中小企業・小規模事業者 300 社に選出
国連 SDG Global Festival of Action にて登壇

大川印刷
OHKAWA PRINTING, SINCE 1881

第 2 回 SDGs 報告会

2019 年 4 月 24 日（水）、第 2 回 SDGs 報告会を YCC ヨコハマ創造都市センターにて開催いたしました。

弊社では持続可能な社会をつくるための国際目標である SDGs を経営計画に盛り込み、本業を通じて行動を実践しております。今回は大川印刷 SDGs 経営計画プロジェクトとして、SDGs Fun to work プロジェクトチームが中心となり企画を行いました。「やってみよう、が世界をかえる」というテーマで社内の SDGs 活動報告に加え、ゲストをお呼びして講演やパネルディスカッションを行うなど、盛り沢山の内容となりました。

また、沢山のお客さまやパートナー企業の皆さまに来場していただきました。ありがとうございました。（石栗）

基調講演を行う蟹江憲史氏

基調講演

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 教授

蟹江 憲史 氏

「SDGs の現在地と今後」というテーマで、持続可能な社会にするために SDGs にどのように取り組めば良いかについて講演していただきました。

SDGs にどのように取り組めば良いか分からないという問題に対して、SDGs はアイデアを皆で出し合えば難しくないこと、地域社会と協働すること、目の前のコストよりも今後にプラスになることをすべきだということなど、分かりやすくお話いただきました。（石栗）

講　演

㈱日本フードエコロジーセンター 代表

髙橋 巧一 氏

食品ロス処理について講演していただきました。食品ロスをリサイクルし飼料にすることで、食品ロスの問題や、畜産経営の問題解決に取り組んでいます。

また障がい者雇用でも、その人が得意とする仕事をしてもらうことで働きやすい環境づくりをしていると知り、大変勉強になりました。（石栗）

講演を行う髙橋巧一氏

進行をする川北秀人氏

熱く議論をする蟹江憲史氏、髙橋巧一氏、大川社長

パネルディスカッション

IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表

川北 秀人 氏

川北氏のコーディネートによるパネルディスカッションも行われました。講演していただいた蟹江教授、髙橋氏に加え、弊社社長の大川がパネラーとして参加しました。SDGs の協働に必要なことは何か、今回の SDGs 報告会のテーマである SDGs を「やってみよう」についてそれぞれの立場で話し合いました。（石栗）

トークセッション

㈱アソボット 代表

伊藤 剛 氏

アソボットの伊藤氏とのトークセッションでは「SDGs 手帳」への想い、弊社で印刷することになった経緯を営業部 中橋と共にお話していただきました。

「SDGs 手帳」を読めば、とても分かりやすく地球に起こっている危機を自分事に捉えることができます。右記の QR コードから SDGs 手帳の内容をご確認いただけますので、ぜひご覧ください。（片岡）

http://asobot.co.jp/news/20190215/

トークセッションを行う伊藤剛氏と中橋

プロジェクトチーム報告

若者カフェ

若者カフェからは、人財確保の取り組みや安全管理の取り組み、そして情報発信等、SDGs を基に 2018 年度取り組んだ内容を発表させていただきました。 一年間の活動を発表し、成果だけではなく、今後の課題も明確にすることが出来ました。 またその後の懇親会時には、多くの方に興味をもっていただき、意見交換もすることができて良かったです。
(上田(かんだ)チームリーダー)

上田チームリーダー

ゼロ・エミッション 2020 プロジェクトチーム

従業員の意識改革からスタートして、ごみの分別、資源選別センター見学、マイクロプラスチック問題、「かながわプラごみゼロ宣言」賛同企業登録、社内自動販売機ペットボトル廃止等一年間の活動を通してたくさんの気づきや学びがありました。私たち一人ひとりがごみを減らそうと考えて行動することが大切であり、地球の環境や私たちにとって良いと思うことをコツコツやっていくことで未来を変えていくことができると思います。

地球とのつながりを考え「ゼロ・エミッションプロジェクト 2020」は、セカンドステージに進んでいきます。(伊東サブリーダー)

伊東サブリーダー

会社案内+α(アルファ)

2018 年度の「会社案内+α」の取り組みについて発表させていただきました。4・5 月の勉強会を通じて「会社案内+α」や ESG 投資について学びました。その後、横浜市立大学のエクステンション講座で取り組みの紹介をいたしました。

また、「会社案内+α」紹介パンフレットの製作を行い 12 月に完成し、各方面に配布しました。横浜型地域貢献認定企業約 100 社にパンフレットを郵送し、連絡をしてアプローチを行いました。4 月現在では山翠舎様他数社からのお問い合わせをいただいております。この後、さらに営業を続けていきます。
(宝来リーダー)

宝来リーダー

再生可能エネルギー 100%印刷プロジェクト

再生可能エネルギー 100%印刷プロジェクトは、2030 年までに、すべての人が安価でかつ信頼できる近代的なエネルギーサービスにアクセスできることを念頭に再生可能エネルギーの技術向上と拡大のために活動しております。具体的には、中小企業でも投資ゼロから始められる太陽光パネル発電のスキームによるパネル設置、再エネ率の高い電力の「みんな電力様」からの購入、中小企業版 RE100 取得を目指して目標を設定などを行いました。(田中リーダー)

田中リーダー

SDGs Fun to Work プロジェクトチーム

SDGs報告会でのFun to Workのチームリーダーとして成果報告をして

「やってみよう、が世界をかえる」をテーマに報告会を開催し、私自身が、パートからの正社員登用、プロジェクトリーダーへの挑戦と、「行動」をすることで、目の前の世界がかわり、「考えは考えを生むだけ、大事なのは一歩ふみだすこと。」と強く感じた経験を成果報告の中でお伝えすることができました。

「SDGs」を共通言語に、沢山の方々が報告会にご来場下さり、会場の熱気と、熱意を感じることができたのは何物にもかえがたい貴重な経験でした。

草間チームリーダー

SDGs 報告会の中心となり報告会を動かして

「お客さまの立場だったらどんな話を聴けたらワクワクするか？」そんな思いから報告会準備がスタートしました。思いを広げていくと、弊社プロジェクトチームの発表の他に、慶應義塾大学蟹江教授や(株)日本フードエコロジーセンター髙橋氏、IIHOE 川北氏、㈱アソボット伊藤氏、有馬高等学校 SDGs プロジェクトチームの皆さん、本当に錚々たる方々にご登壇いただくことが叶い、感謝の気持ちとわくわくした気持ちでいっぱいでした。報告会の成功は、様々な方々との繋がりと周りの従業員の惜しみない協力のおかげだと感じています。(草間チームリーダー)

神奈川県立有馬高等学校 SDGs プロジェクトチームの皆さん

神奈川県立有馬高等学校は神奈川県の教育課程研究開発校の指定を受け、2019 年 4 月より SDGs をテーマとした学習を行っています。それに伴い、生徒 13 名で、一般社団法人 Think the Earth と連携し『かながわ SDGs アクションブック』の記事作成に取り組み、大川印刷を取材先として選んでいただきました。SDGs 報告会では、取材についてや、今後を担う世代として SDGs をもっと多くの人に知ってもらいたいという想いを語っていただきました。

有馬高等学校 SDGs プロジェクトチームの発表を聞いていて、皆さんの熱意をとても感じました。とても高校生とは思えないような堂々とした立ち振る舞いで SDG s を自分事だと捉えていることがひしひしと伝わってきました。（石栗）

取り組みの発表をしている有馬高等学校 SDGs プロジェクトチームの皆さん

5%寄付付きチケット

今回初の試みとなる、参加者の皆様からいただいた会費から 5%を 3 つの団体から選んで寄付をする「5%寄付付きチケット」を発行させていただきました。

右の写真のように寄付ブースを設置し、神奈川県ユニセフ協会様「暴力と虐待から子どもを守る」カンボジア指定募金、一般社団法人アニマルセラピーこころサポート協会様「動物とのふれあいを通して生活の質を向上」、特定非営利法人 ACE 様「児童労働の撤廃と予防」、の寄付ボックスを設置させていただきました。寄付金は 6 月末に無事贈呈することができました。ご協力ありがとうございました。（片岡）

寄付ボックスの設置

神奈川県ユニセフ協会様
「暴力と虐待から子どもを守る」
カンボジア指定募金

一般社団法人 アニマルセラピー
こころサポート協会様
「動物とのふれあいを通して生活の質を向上」

特定非営利法人 ACE 様
「児童労働の撤廃と予防」

TOPICS

～ SDGs Fun to Work 次なる挑戦～

2019 年 6 月には SDGs Fun to Work プロジェクトチームメンバーで有馬高等学校の 1 年生、約 300 名の方々に対して講演を行いました！

発表内容は、大川印刷の SDGs の取り組みについてでした。

始めに担当リーダーの佐藤より SDGs を意識した環境や人にも優しい印刷について説明をし、次にチームリーダーの草間より SDGs Fun to Work プロジェクトの活動内容についても紹介しました。そして最後に高校生の皆さんに SDGs について身近に考えてもらいたいと思い、「The SDGs アクションカードゲーム」の遊び方について紹介しました。生徒の皆さん、熱心に話を聞いていただき本当にありがとうございました！（片岡）

有馬高等学校で講演をする
草間チームリーダー

はばたく中小企業・小規模事業者 300 社に選出

この度、経済産業省 が主催する「はばたく中小企業・小規模事業者 300 社」に選定され、2019 年 6 月 4 日（火）経済産業大臣より表彰を受けました。

弊社は環境負荷軽減に特化した「環境印刷」や、SDGs を経営に取り入れたことにより、環境に良い印刷をしたいというお客様のお問い合わせが増え、需要獲得分野で表彰されました。具体的には、印刷業界初の「ゼロカーボンプリント」や、社内外へ SDGs への関心を高めるプロジェクト活動に従業員が主体的に参加していることが評価されました。これからも弊社のパーパス（存在意義）である「ソーシャルプリンティングカンパニー」に沿った事業を行ってまいります。（片岡）

世耕経済産業大臣（当時）と

再生可能エネルギー 100% 達成

再生可能エネルギー 100% 印刷プロジェクトは、横浜市の「Zero Carbon Yokohama」の実現に向け、横浜市地球温暖化対策推進協議会の初期投資なしで太陽光発電システムを設置する「横浜発！太陽光発電普及キャンペーン 2020」の取り組みとして 2018 年 3 月に開始し、このたび、太陽光発電システムの設置、発電を開始するにあたり、通電式を開催しました。システムの設置費用はソーラーフロンティア株式会社が負担、株式会社大川印刷は発電した電力を事業に活用し、使用した電気料を毎月ソーラーフロンティア株式会社に支払います。

太陽光パネルの発電量は、弊社の使用電力の 20% 相当にあたり、持続可能な自然エネルギーで循環型社会を推進する活動になりました。また、災害による停電時には、臨時電源として無償で電気を活用することができます。（田中リーダー）

通電式後に関係者の皆さんと

国連 SDG Global Festival of Action にて登壇

国連に招待いただき 5 月 2 日、ドイツのボンで開催された「SDG Global Festival of Action」に参加して参りました。このイベントは国連がSDGs普及を目的として主導する国連 SDGs アクションキャンペーンであり、世界各国からおよそ1500人の参加がありました。ブースは趣向を凝らし、VR 体験、インスタ映えフォトコーナー、SDGs グッズコーナーなど様々。

コーヒーを自由に飲みながら、各国の人びととコミュニケーションを取り合う様子が、いかにも国際イベントらしく感じられました。第 2 回ジャパンSDGsアワード受賞団体として招待され参加したのは、日本生活協同組合連合会、大崎町役場、会宝産業（株）、SUNSHOWGROUP、そして大川印刷でした。初日午前中には外務省国際協力局の甲木様が日本のSDGs取り組みについてお話され、午後からは甲木様のファシリテーターの下、日本から参加の 5 団体が取り組みを順番に発表していきました。5 団体それぞれ参加者からの関心があったようで、発表後には参加者からの質問に答えたり、名刺交換をしました。感想としては、日本の SDGs の取り組みは海外の方々からも関心を持っていただけるレベルであると感じました。引き続き積極的に SDGs の目標達成に向け、活動を推進してまいります。

なお今回の発表の様子は国連のテレビで生中継され、以下の QR コードから閲覧可能です。（大川社長）

会社の取り組みを発表する大川社長

https://bit.ly/2LF3t7A

新メンバー紹介

はじめまして。4月に入社した小峰千波です。千波という名前に特に意味はありません。夏っぽいからです。アウトドアでもインドアでもあるマイペース人間です。好きな食べ物は大豆と抹茶です。企画・デザイン課に入り毎日覚えることはたくさんですが、好奇心・学ぶことは忘れずに日常のさまざまなものを吸収しながら仕事に活かしたいと思いますので、よろしくお願いします！

4月に中途入社した、営業部企画・デザイン課の山上和美と申します。作ることが大好きだから、まだデザイン屋さんを辞められません。今まで培った経験をSDGsの活動を通して、世の中の皆様にお役に立てる「ものづくり」をしていきたいです。

年齢に関係なく志があればチャンスをもらうことができて、いろんな可能性が広がる会社だと感じました。

総務部の山崎利香と申します。これまでWEBコンテンツ制作会社等で経理総務業務の経験を積んできました。総務業務としては働きやすい環境の整備改善や、就業規則の改定等幅広く、また他部署との関わりも多くなるため、視野を広く持ち様々な事柄に対応できるようにしたいと思っております。経理業務もあり、まだまだわからないことばかりですが成長していけるよう努力してまいります。

インターン生紹介

4月からインターンをしている専修大学経営学部4年の片岡優斗です。

新入社員の皆さんと一緒に入社式にも参加しました。大川印刷でインターンをすることで、自分の今まで関心のなかったSDGsについて勉強する機会がたくさん出来、自分の視野を大きく広げることができました。

横浜市立大学国際総合科学部4年の石栗まなです。5月から2か月半インターンシップをさせていただきました。SDGsへの取り組みが必要不可欠な社会になっていること、一人ひとりが主体的にSDGs活動に取り組むことが大切であると学びました。皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

慶應義塾大学政策メディア研究科の環境政策専門蟹江研究室、修士2年の王芸宸と申します。私は中国の上海出身で、以前は上海理工大学で学びました。印刷業に向かう持続可能な開発目標の達成メカニズムを研究しています。卒業論文のタイトルは「持続可能な印刷業界へ向けて：印刷認証制度を通じた持続可能な開発目標（SDGs）達成メカニズムの解明」です。

編集後記

CSRの和を作成することで言葉遣い、伝え方を考える良い経験になりました。
ありがとうございました！残りのインターンも頑張ります！（片岡）

文章を書いて、デザインを作り、印刷するのは簡単そうに思えますが、沢山の確認項目があります。
一つの印刷物を作成するに当たり、沢山の人が協力してできていることを学びました。（石栗）

SNSでリアルタイムコミュニケーションを展開中!

リアルタイムで大川印刷や横浜の情報が受け取れます！

facebook
YouTube
大川印刷 twitter @OhkawaPrinting
社長 twitter @tetsuo_ohkawa
大川印刷 Instagram @ohkawaprinting
社長 Instagram @tetsuo_ohkawa
社長ブログ

編集　大川印刷
発行人　大川 哲郎
編集長　片岡優斗・石栗まな
発行元　株式会社大川印刷

◆本社・工場　〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町2053番地
TEL：045-812-1131（代）FAX：045-812-1135
◆横浜営業所　〒220-0011横浜市西区高島2-14-12 ヨコハマジャスト2号館3F
TEL：045-441-2011（代）FAX：045-441-2014
URL：http://www.ohkawa-inc.co.jp
お問い合わせ・ご意見・ご感想は…
magokoro@ohkawa-inc.co.jp まで

印刷事業において発生するCO_2全てをカーボンオフセット（相殺）した「ゼロカーボンプリント」で印刷しています。FSC®森林認証紙、ノンVOCインキ（石油系溶剤0%）など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーンプリンティング認定工場です。また、メディアのユニバーサルデザインを推進するNPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会が「より多くの方が使いやすく見やすいメディア」であると認めた印刷物です。

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C009309
リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
GREEN PRINTING JFPI P-B10164
CARBON OFF SET
CSR P-00027
MUD P10392
YOKOHAMA PREMIUM 地域貢献企業
VOC FREE™

2019.10.2000